



# サイエンスリサーチ(株)

(長崎市)



お話を伺ったのは  
代表取締役  
副島 勝則 さん



# つたエール けん

県内で頑張っている企業や人に  
エール(応援)を送ります!

## 自然の力を利用した 発電機の研究開発

大学卒業後、関東の大手電機メーカーに3年ほど勤務し、Uターン。平成3年、長崎市西海町に現会社を設立しました。平成18年には48歳で長崎大学大学院に進み、自然エネルギーを使った発電機の研究で博士号を取得しました。現在は、自然の力を活用した垂直軸型風力発電機やマイクロ水力発電機、潮流発電機、洋上風力発電機などの研究開発に取り組んでいます。



事務所ではCAD<sup>キヤド</sup>※を使ってモーターや発電機的设计を行っている。  
※コンピュータを用いて設計することができるツール

## 機能的な風力発電機 「うろこタービン」

特に研究に力を入れているのが風力発電機です。風力発電は風を利用できる地域であればどこでも使え、災害への備えの観点でも期待されています。しかし、国内の風力発電機のほとんどは外国製で、大型で高価なものが多く、簡単に購入できません。そこで、低価格で小型の製品の開発に取り組み、生まれたのが「うろこタービン」です。高さ・幅75センチ、低風速で回転する風力発電機で、変幻自在に泳ぐ魚のうろこをイメージして作った3枚の翼が特徴です。



## 独自のモノづくりで SDGsな社会に貢献

うろこタービンは、機能性はもちろん、回転した時の騒音が無く、美しさとしなやかさを兼ね備えたデザインも評価され、「長崎デザインアワード2022」で「サステナブル賞」を受賞しました。今後は、量産体制を確立し、国内だけでなく海外にもうろこタービンを広めていきたいと思っています。引き続き“世の中に一つしかない”製品を開発し、持続可能な環境づくりに貢献していきます。



うろこタービン以外にも、手回し発電機や蓄電ユニットなどを開発

世の中に一つしかないモノづくりを通して  
持続可能な環境づくりに貢献していきます